

## 令和6年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名: 新潟県

農業委員会名: 村上市農業委員会

## I 農業委員会の状況(令和6年4月1日現在)

※ 「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

## 1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 5 年 8 月 1 日

任期満了年月日 8 年 7 月 31 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	20	20
認定農業者	—	14
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	1
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	19	19	5

## 2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	2,699
農業経営体数	1,653

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	1,711
女性	603
40代以下	115

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	348
基本構想水準到達者	167
認定新規就農者	7
農業参入法人	4
集落営農経営	13
特定農業団体	0
集落営農組織	13

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	計			
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	6,390	790	747	27	16	7,180

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

## II 最適化活動の実施状況

### 【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

#### 1 最適化活動の成果目標

##### (1) 農地の集積

###### ① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	7,180 ha	4,839 ha	67.4 %
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地の分散、錯綜が解消されず、農産物の価格下落や資材等の高騰により、担い手の規模拡大が進まない。また、農業従事者の減少により新たな担い手の育成確保が課題である。</li> <li>農地条件不利地域においては担い手がさらなる集積が難しい状況にあり、条件不利の解消を図っていく必要がある。</li> <li>地域によっては、複合的な要因により受け手が確保できていない農地が発生してきており、それらの農地の整理の仕方について、検討する必要がある。</li> </ul>		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

###### ② 目標

農地の集積の目標年度	8 年度	集積率	90.0 %
今年度の新規集積面積	70 ha	農地面積(C)	7,180 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	4,909 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	68.4 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

###### ③ 実績

今年度の新規集積面積	184 ha	農地面積(F)	7,180 ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	5,023 ha	今年度末の集積率 (H)=(G)/(F)	70.0 %
目標に対する達成状況(H)/(E)	102.3 %		

農業委員会の点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>村上市「農地等の最適化の推進に関する指針」のR8.3目標の90%には及ばない。地域計画の実行に合わせ、引き続き担い手への集積率を上げていく必要がある。</li> </ul>
------------	---

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

#### (2) 遊休農地の発生防止・解消

##### ① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	4.5 ha	4.5 ha	0.0 ha
<ul style="list-style-type: none"> <li>中山間地等の条件不利地における農地保全や担い手の確保。</li> <li>有害鳥獣被害の拡大。</li> <li>農家の減少並びに行政による生産目標数量配分が廃止されたことで、減反用として賃借されていた農地が解約等により所有者に戻される例が増えており、遊休農地の拡大が懸念される。</li> </ul>			

##### ② 目標

###### ア 既存遊休農地の解消

###### a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	8.0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	1.6 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.0	ha
--------------------------	-----	----

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	0
-------------------------	---

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	0.0	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)／(C)	0.0	%

b 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	・策定していない。
-------------------------	-----------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	8月		10月	
	1号遊休農地の面積	8.0 ha	うち緑区分の遊休農地	8.0 ha
		うち黄区分の遊休農地	0.0 ha	

  

農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	8月		10月	

農業委員会の点検結果	・遊休農地の解消に向け、引き続き耕作放棄地の再生支援制度の周知と農地パトロールの強化を図り、農業委員及び推進委員が連携して解消に取り組む必要がある。
------------	--

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	3年度新規参入者		4年度新規参入者		5年度新規参入者	
	4	経営体	4	経営体	2	経営体
	51	ha	0	ha	24	ha
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業従事者の高齢化や後継者不足により離農する農家が増加しており、農地を担う人材の育成確保とともに、地域の営農環境を維持するための人材確保が喫緊の課題であり、地域の実情に応じた対策を進めていく必要がある。</li> <li>・高価な農業用機械が必要となるなど、就農への敷居が高くなっている。</li> <li>・新規参入するにあたっての環境(条件)に地域差があり条件整備が必要である。</li> <li>・親元就農を目指す人への支援も必要である。</li> </ul>					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	2年度		3年度		4年度		平均	
	599	ha	790	ha	678	ha	689	ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)			68.9		ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)	46.6	ha
公表URL	https://www.city.murakami.lg.jp	(その他の公表方法)
目標に対する達成状況(B)/(A)	67.6	%
(参考)新規参入者の参入状況	参入経営体数	3 経営体
	取得農地面積	46.6 ha

農業委員会の点検結果	・地域農業の将来のため、市の支援等の情報提供し、新規参入者が安定した経営が出来るように対応していく。
------------	--

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	8 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	20	人
		農地利用最適化推進委員の人数	19	人

(2) 活動強化月間の設定

① 目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
6月～8月	農地の集積	・地域計画作成のため地域の話し合いに参加し、目標地図素案の作成に関わるとともに、貸手・借手との調整を進め、担い手への集積・集約を進める。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

② 実績

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の結果
8月	遊休農地解消	・遊休農地の解消月間として、現地調査し遊休農地の解消策を検討した。
8月～10月	農地集積	・地域計画での貸手と受け手の協議に参加し、集積・集約に努めた。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

### (3) 新規参入相談会への参加

#### ① 目標

新規参入相談会への参加回数		1 回	
開催時期	12月	相談会名	新規就農・就業マッチングフェア
参加者数	2	開催場所	新潟農業大学校
相談会の内容	・新規就農と就業者を対象とした就農・就業相談会、求人説明会		
開催時期	0	相談会名	0
参加者数	0	開催場所	0
相談会の内容	0		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

#### ② 実績

新規参入相談会への参加回数		1 回	
開催時期	12月	相談会名	新規就農・就業マッチングフェア
参加者数	2名	開催場所	新潟農業大学校
相談会の内容	・新規就農者と就業者を対象とした就農相談会、求人説明会		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

#### 目標の達成状況の評語

目標に対して期待どおりの結果が得られた
---------------------

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

#### 【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	
目標に対し期待を上回る結果が得られた	
目標に対して期待どおりの結果が得られた	39
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入